



日本シティズンシップ教育フォーラム
2024 年度 事業報告書

(2024.01.01～2024.12.31)

住所：兵庫県西宮市深津町 6-36-403

Mail：info@jcef.jp URL：https://jcef.jp

目次

1. 2024 年度事業のハイライト	2
2. 2024 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	6
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	13
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	13
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワークを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2024 年度事業のハイライト

- (1) 「第 11 回シティズンシップ教育ミーティング」は「ファスト化社会におけるシティズンシップ教育のあり方」をテーマに対面開催。日本全国から 70 名の方々が参加。
- (2) 「シティズンシップ教育研究大会 2024」をオンライン開催。日本全国から 115 名の方々が申し込み。報告は 45 本のエントリー。
- (3) 定例の勉強会「J-CEF スタディ・スタヂオ」はオンラインで 7 回開催。

2. 2024 年度事業実施体制

2024年度は以下の体制でプロジェクトチームごとに会議がもたれて事業が推進された（所属・肩書きはいずれも当時）。

【第 11 回シティズンシップ教育ミーティング実行委員会】（～2024.3.31）

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院博士課程）

角野仁美 (NPO 法人みらいず works 理事)
川中大輔 (シチズンシップ共育企画代表／龍谷大学社会学部准教授)
黒崎洋介 (国立教育政策研究所)
土肥潤也 (NPO 法人わかものまちな代表理事)
原田伊織 (NPO 法人 ASK 理事)
藤枝 聡 (立教大学国際センター・日本語教育センター)
古野香織 (認定 NPO 法人カタリバ)
別木萌果 (都立小川高等学校教諭)
堀本麻由子 (東洋大学文学部准教授)〈委員長〉
本田晃寛 (神奈川県立横浜旭陵高等学校教諭)
宮崎一徳 (みんなの政策研究所)

【第 12 回シチズンシップ教育ミーティング実行委員会】(2024.4.1～)

猪股大輝 (東洋大学文学部助教)
小野太郎 (伊丹市立摂陽小学校教諭)
角野仁美 (NPO 法人みらいず works 理事)
金杉龍吾 (青山学院大学コミュニティ人間科学部)
川中大輔 (シチズンシップ共育企画代表／龍谷大学社会学部准教授)
黒崎洋介 (神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭)
住友翔馬 (広島大学教育学部)
土肥潤也 (NPO 法人わかものまちな代表理事)
原田伊織 (NPO 法人 ASK 理事)
藤枝 聡 (立教大学総長室次長)
古野香織 (認定 NPO 法人カタリバ)
別木萌果 (都立小川高等学校教諭)
堀本麻由子 (東洋大学文学部准教授)〈委員長〉
宮崎一徳 (みんなの政策研究所)

【シチズンシップ教育研究大会 2024 実行委員会】

市川享子 (東海大学健康学部准教授)
井上昌善 (愛媛大学教育学部准教授)〈副委員長〉
川口広美 (広島大学大学院人間社会科学研究科准教授)
川中大輔 (龍谷大学社会学部准教授)
北山夕華 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)〈委員長〉
久保美奈 (千葉経済大学経済学部専任講師)
斉藤仁一朗 (東海大学資格教育センター講師)
長沼 豊 (日本教育実践研究所所長)

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部教授）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

星 瑞希（北海道教育大学教育学部講師）

若槻 健（関西大学文学部教授）

<シンポジウム企画委員会>

知念 渉（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

村松 灯（帝京大学リベラルアーツセンター講師）

若槻 健（関西大学文学部教授） 〈企画委員長〉

【J-CEF スタディ・スタジオ運営チーム】

伊藤真琴（お茶の水女子大学文教育学部）

岡本愛香（北海道大学大学院教育学研究院博士課程）

小田切瑞生（山梨県立高校教諭）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター講師）

玉井慎也（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期）

野瀬 輝（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）

浜田未貴（認定 NPO 法人カタリバ）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

別木萌果（都立小川高等学校教諭）

【出版企画検討チーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

斉藤仁一朗（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター講師）

古田雄一（筑波大学人間系助教）〈座長〉

【マネジメントチーム】

川口広美（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

川中大輔（シチズンシップ共育企画代表）〈事務局〉

黒崎洋介（神奈川県立横浜瀬谷高等学校教諭）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

斉藤仁一朗（東海大学資格教育センター講師）

古田雄一（筑波大学人間系助教）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

【監事】

市川享子（東海大学健康学部准教授）

西野偉彦（慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第11回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、「第11回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。



【開催概要】

○日時：2024年3月9日（土）13時～

3月10日（日）15時30分

○場所：東洋大学 白山キャンパス

○参加者：70名

○テーマ：「ファスト化社会におけるシティズンシップ教育のあり方」

○プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼エクスカージョン（オプション・プログラム）

サンカクシャ, b-lab, 国会見学

▼オープニング

〈ファシリテーター〉

岡本愛香さん（北海道大学大学院教育学研究院修士課程）

▼全体会「ファスト化社会におけるシティズンシップ教育のあり方」

〈問題提起〉

土肥潤也さん（NPO 法人わかものまちな代表理事）

〈ゲスト〉

大畑方人さん（ドルトン東京学園中等部・高等部教諭）

栗本拓幸さん（株式会社 Liquitous 最高経営責任者）

長野基さん（東京都立大学准教授）

山口有紗さん（小児科医, 子どものこころ専門医, こども家庭庁）

〈コメンテーター〉

小玉重夫さん（東京大学大学院教授）

〈ファシリテーター〉

古野香織さん（認定NPO 法人カタリバ）

土肥潤也さん（NPO 法人わかもののみち事務局長）

▼第1分科会「若者と伴走する大人の存在／関わり」

〈ゲスト〉

荒井佑介さん（NPO 法人サンカクシャ代表理事）

大津恵美さん（北海道大学大学院）

〈コメンテーター〉

遠藤梢子さん（東京学芸大学附属高等学校生徒）

不二山七海さん（立教大学学生）

〈コーディネーター〉

原田伊織さん（NPO 法人 ASK）

堀本麻由子さん（東洋大学）

▼第2分科会「学校の運営へのこども若者参画」

〈ゲスト〉

石山さなさん（栃木県立足利清風高等学校生徒）

小瀧智美さん（栃木県立小山北桜高等学校教頭）

橋本幸平さん（光市立浅江中学校地域連携担当教諭）

藤田星流さん（中央大学学生）

〈コメンテーター〉

古田雄一さん（筑波大学助教）

〈コーディネーター〉

角野仁美さん（NPO 法人みらいず works）

▼第3分科会「インクルーシブな政治参加／政治教育」

〈ゲスト〉

杉田 淳さん（NHK 報道局・選挙プロジェクト）

平林浩一さん（狛江市副市長）

〈コメンテーター〉

高野聡子さん（東洋大学教授）

森本彩里紗さん（東洋大学学生）

〈コーディネーター〉

宮崎一徳さん（みんなの政策研究所）

▼第4分科会「探究』の勢いをどう生かすか？」

〈ゲスト〉

荒木昭人さん（相模原市立双葉小学校指導教諭）

廣瀬志保さん（山梨県立笛吹高等学校校長）

〈コメンテーター〉

柏倉颯月さん（神奈川大学学生）

〈コーディネーター〉

黒崎洋介さん（国立教育政策研究所）

本田晃寛さん（神奈川県立横浜旭陵高等学校）

▼全体会・クロージング

〈ファシリテーター〉

別木萌果さん（都立小川高等学校教諭）

浜田未貴さん（認定 NPO 法人カタリバ）

■ 「シティズンシップ教育研究大会 2024」を開催

J-CEF では、「シティズンシップ教育」というキーワードのもと、各々の問題関心や取り組んでいる研究を持ち寄りながら、学問領域の垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えることを目的として、「シティズンシップ教育研究大会 2024」を開催しました。



【開催概要】

- 日時：2024 年 10 月 5 日（土）10 時～17 時 30 分（アフタートーク 18 時 30 分まで）
- 場所：オンライン
- 参加者：115 名
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター（所属は当時）

▼シンポジウム

- ・テーマ：「共生に作法は必要か？」
- ・登壇者：村松 灯さん（帝京大学）
知念 渉さん（大阪大学）
江口 怜さん（摂南大学）
- ・コメンテーター：川口広美さん（広島大学）
- ・コーディネーター：若槻 健さん（関西大学）

▼自由研究発表セッション

[第 1-1 分科会]

司会：星 瑞希さん（北海道教育大学）

副司会：高松尚平さん（太宰府市立太宰府西中学校）

(1) いかにして歴史学習によって高校生が「遠い」他者への関心を生むかー歴史総合「グローバル化と私たち」授業実践の模索ー

寺前 綾さん（和歌山県立文書館）

(2) カナダにおける社会科歴史的学习ワークシートの構成とデザインの分析ー「批判的思考」と「歴史的な見方・考え方」を働かせる教材開発のためにー

佐々島忠佳さん（北海道教育大学釧路校・学生）

(3) 高等学校地歴公民科における平和教育の構想ージュディス・バトラーの「主権」概念批判を手がかりにー

山下真彌さん（東京大学大学院教育学研究科）

[第 1-2 分科会]

司会：井上昌善さん（愛媛大学）

副司会：水山光春さん（京都教育大学名誉教授）

(1) 岡山県における高等学校の食農教育活動ー台湾 108 課程綱要における援用の可能性ー

Chen Wen-Hsin さん（岡山大学大学院）

(2) 地球温暖化に対し私達ができることは？

大房信幸さん（長野県飯田高等学校）

(3) 中学歴史科授業において「証言」をどのように扱えばよいか？ー「慰安婦」問題を題材とした授業開発ー

江西夢叶さん（北海道教育大学札幌校・学生）

[第 1-3 分科会]

司会：斉藤仁一朗さん（東海大学）

副司会：中村仁志さん（岡崎女子大学）

(1) 就学前施設における多文化保育のありかたー外国にルーツのある子どもを中心とした保育と保育者の保育観ー

朴貴禮さん（大阪大学大学院）

(2) 絵本を用いた多文化共生保育の方法ーニュージーランドの教材を手がかりにしてー

景山愛梨さん（岡山大学大学院）

(3) シティズンシップ教育のための総合的な学習の時間の意義

吉城寺涼さん（広島文教大学・学生）

[第 1-4 分科会]

司会：久保美奈さん（千葉経済大学）

副司会：西山溪さん（開智国際大学）

(1) 哲学対話の手法を活かした生徒の本来感を高める授業の開発

山崎達也さん（千葉大学大学院）

(2) 和人对アイヌの二項対立を乗り越えるための授業

吉川勇氣さん（北海道教育大学札幌校・学生）

(3) シティズンシップ教育における絵本活用の可能性に関する研究

JIN CHEN さん（岡山大学大学院）

[第 1-5 分科会]

司会：川中大輔さん（龍谷大学）

副司会：林 大介さん（浦和大学）

(1) 子ども・若者にとっての学校と家庭以外の市民性育成の場の必要性

光岡歩美さん（岡山大学大学院）

(2) 高校生の探究学習を支えるユースワーカーについての研究

宮内裕大さん（大阪大学大学院）

(3) 生活指導と融合した教科指導のあり方に関する研究

橋本幸弥さん（岡山大学大学院）

[第 1-6 分科会]

司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

副司会：市川享子さん（東海大学）

(1) 日韓・東アジアがともに生きるための「民主的文化のための能力」-日韓合同遠隔授業の実践から

森山 新さん（お茶の水女子大学）

(2) 青年国際交流事業の参加者の変容と地域社会への影響に関する調査研究

長木 愛さん（川崎医療福祉大学）

(3) 中国における双語教育と民族的アイデンティティの形成-少数民族（ナシ族）の社会的・文化的背景に注目して-

木 八慧さん（岡山大学大学院予備コース）

[第 1-7 分科会]

司会：古田雄一さん（FURUTA, Yuichi）（筑波大学）

副司会：北山夕華さん (KITAYAMA, Yuka) (大阪大学)

(1) Exploring the Motivations and Influential Backgrounds of Teachers Engaged in Global Citizenship Education

LUO GUYUE さん (Graduate School of Okayama University)

(2) From the migrant children's manners to the school engagement: in the context of tokubetsu katsudō participation

Dao Ngoc My Linh さん (Graduate School of Osaka University)

(3) 学校教育の「共生」に関わる学習を考える－「日本の家庭科教科書における外国につながる人々やその暮らしの描写のされ方に関する考察」をもとにして－

坂口真康 (大阪大学)・坂口 (山田) 有芸 (摂南大学)・山田文乃 (立命館大学・兵庫教育大学連合大学院)

[第 2-1 分科会]

司会：市川享子さん (東海大学)

副司会：林 大介さん (浦和大学)

(1) 「こども選挙」の展開の分析

宮崎一徳さん (みんなの政策研究所)

(2) 初等教育段階の市民性教育としての法教育の特質と課題

宮本あゆはさん (岡山大学大学院)

(3) スウェーデンの学校教育における模擬選挙を活用した実践の一考察－参加を通してシティズンシップを学習する視点から－

葉上千紘さん (大阪大学大学院)

[第 2-2 分科会]

司会：若槻 健さん (関西大学)

副司会：星 瑞希さん (北海道教育大学)

(1) 政治的無力感の強い生徒に社会運動をどう教えるか－高等学校公民科における社会正義志向の社会科の授業開発研究－

清川美空さん (岡山大学大学院)・別木萌果 (東京都立小川高等学校)

(2) どのように社会科でインターセクショナルリティを教えるべきか－Justice By Design 『交差する世界観の構築』を手がかりに－

和田尚士さん (広島大学大学院)

(3) 通信制高校におけるシティズンシップ教育－ビースタの「主体化」概念に注目して－

中野孝太さん (京都芸術大学附属高校)

[第 2-3 分科会]

司会：齊藤仁一朗さん（東海大学）

副司会：黒崎洋介さん（神奈川県立横浜瀬谷高等学校）

(1) 問いの構造図による科学的探究学習-中学校社会歴史的分野での授業実践報告-

奥田幸昌さん（近畿大学附属広島高等学校中学校福山校）

(2) 人文学の視座・方法論から考えるシティズンシップ教育-歴史学と哲学・宗教学との対話を手がかりにして-

丸小野壮太さん（常磐大学高等学校）・土井裕人さん（筑波大学）

(3) 小学生は武士をどのようにイメージしているのか

今 祐貴さん（北海道教育大学札幌校・学生）

[第 2-4 分科会]

司会：北山夕華さん（大阪大学）

副司会：西山 溪さん（開智国際大学）

(1) 外国につながる教員・支援者の実践上の役割認識と課題-外国につながる児童生徒に対する実践に着目して-

坂口（山田）有芸さん（摂南大学）

(2) 伝統文化教育を通じた市民性育成に関する研究-日中の教科外活動の取組の比較を通して-

杜 嘉熠さん（岡山大学大学院）

(3) 市民性育成と日本語教育の関係に関する調査研究-非母語話者日本語教師の日本語教育観に焦点を当てて-

LI YISHUI さん（岡山大学大学院）

[第 2-5 分科会]

司会：川口広美さん（広島大学）

副司会：水山光春さん（京都教育大学名誉教授）

(1) 共生社会の実現を目指す主権者教育に関する研究-内容編成の検討を通して-

柚山由紀野さん・元山壮馬さん・小倉 滯さん（愛媛大学教職大学院）

(2) 「異なるものを知ろうとする市民性」を養成する教師教育の可能性-教育社会学の立場から見た学習指導要領の理念実現の限界性を踏まえて-

藤本莉央さん（北海道教育大学釧路校・学生）

(3) 社会科教育学草創期における社会科教育課程研究の展開とその特質-内海巖の学習指導要領研究を事例として-

釜本健司さん（新潟大学）

[第 2-6 分科会]

司会：橋崎頼子さん（奈良教育大学）

副司会：村松灯さん（帝京大学）

(1) 戦場での性暴力に関わる困難な歴史をどのように教えるかー「連累」の概念を活用してー

池田未知華さん（北海道教育大学札幌校・学生）

(2) 性的マイノリティに関する教材研究における葛藤の探究ーある高等学校公民科教師によるセルフスタディー

神田颯さん（広島大学大学院人間社会科学研究科教育ヴィジョン研究センター）・奥村 尚さん（独立研究者）・村田一朗さん（大垣市立北中学校）・小野創太さん（宮崎産業経営大学）

(3) 児童生徒の社会的課題に対する意見表明力の育成ー「生理的貧困」をテーマにした授業実践と効果検証ー

高橋里奈さん（千葉大学大学院・千葉市立真砂中学かがやき分校教員）

[第 2-7 分科会]

司会：古田雄一さん（筑波大学）

副司会：久保美奈さん（千葉経済大学）

(1) 生徒自治における生徒の多元的な参加への注目ー校則自由化を行った中学校での質問紙調査よりー

藪本佳奈さん（大阪大学大学院）

(2) エンパワーメント・ギャップ克服を目指した生徒会活動の実践ー学校目標作り・ルールメイキング・制服改定署名活動などを通してー

玉木健悟さん（奈良教育大学教職大学院）

(3) 1960年代後半の愛知県立旭丘高等学校における高校生の政治活動ー教師による指導過程に着目してー

鈴木草宮駒さん（名古屋大学大学院）

[第 2-8 分科会]

司会：井上昌善さん（愛媛大学）

副司会：川中大輔さん（龍谷大学）

(1) 平和構築教育のリーダーとしての教師の資質に関する研究ーミャンマーの新任教師の意見に関する調査研究ー

Wint Zaw Htet（岡山大学大学院）

(2) 世界標準となりつつあるDC教育と日本の社会科教育との調和ー教育実習の研究授業デザイン経験から示唆される可能性と限界性ー

瀬川正義さん（北海道教育大学釧路校）

(3) 共に生きることを学ぶ (Learning to live together) とシティズンシップ教育

長岡素彦さん (一般社団法人 地域連携プラットフォーム)

■ J-CEF スタディ・スタジオの開催

シティズンシップ教育に関する報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場を定期的に設けることを目的として、「J-CEF スタディ・スタジオ」を開催しました。

〈Online スタジオ〉

- ・ vol.25 (1/27) 「対話における『聞く／聴く』場をどのようにつくるかー認識的不正義の視点から」 話題提供者：西山溪さん (開智国際大学専任講師)
- ・ vol.26 (2/17) 「主権者教育における持続可能なカリキュラム・マネジメントをいかに行っていくべきかー広島県立賀茂高等学校の取り組みを手がかりに」 話題提供者：小野創太さん (広島大学教育研究推進員), 富永六郎さん (広島県立賀茂高等学校校長), 山科敦志さん (広島県立賀茂高等学校教諭)
- ・ vol.27 (6/5) 「ドイツの政治教育から、日本の主権者教育を考える」 話題提供者：ドイツ連邦政治教育センター職員の方, 別木萌果さん (東京都立小川高校教諭), 通訳：芹ヶ野瑠奈さん (早稲田大学政治経済学部)
- ・ vol.28 (7/21) 「どのような時に大学生は市民としての自己効力感が高まるのか？ーサービスラーニングにおける試行錯誤の中で」 話題提供者：加野佑弥さん (摂南大学)
- ・ vol.29 (9/22) 「『シティズンシップ教育を研究してみたい！教員をやりながら大学院に行きたい！』人向けのオンライン座談会」 話題提供者：湯本育美さん (岡山県備前市立日生中学校), 野村泰介さん (一般社団法人 SGSG 代表理事)
- ・ vol.30 (11/24) 「ノーマライゼーションと選挙ー誰かが参加しやすい選挙は誰もが参加しやすい選挙」 話題提供者：杉田淳さん (NHK 報道局選挙プロジェクト), NPO 法人 DAKKO 学生スタッフ
- ・ vol.31 (12/13) 「自己決定を重視した社会デザインを探る」 話題提供者：市川享子さん (東海大学), 東海大学健康学部の 5 名の皆さん

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ (催事案内・開催報告およびコミュニティの運営)、X (旧 Twitter) を更新継続しています。

○URL : <https://jcef.jp>

■ 新たな出版物に関する企画検討

設立 10 周年の記念事業として新たな出版物を発行するため、出版企画検討チームにおいて出版社とも調整の上で内容構成を確定させて執筆依頼を行いました。2025 年に刊行するスケジュールで進めていま

す。

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造

■若者の社会発信の機会提供

「シティズンシップ教育ミーティング」や「シティズンシップ教育研究大会」、「J-CEF スタディ・スタヂオ」の企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会や交流機会を提供しました。

4. 会計報告

別添資料参照

以上